

【下水道課所管 再評価審議資料】

○再評価対象箇所一覧表	・・・ p. 1
○再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・ p. 2
○再評価実施箇所（附図）	・・・ p. 3
○説明資料（パワーポイント）	
1) 流域下水道事業「木曾川右岸処理区」	・・・ p. 15

令和5年度 再評価対象箇所一覽表 11月15日審議箇所
 [下水道事業：都市建築部下水道課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要			全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)	進捗率 (%)		経過年数 (R5:3現在)	改善との 位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変 化及び 地元の意向	環境との調和への配慮 事項	事業費削減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体面積 (ha)	実施済 事業量 (ha)	事業 実施率 (%)			用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等									
1	流域下水道 事業	木曾川右岸 処理区	岐阜県	S51	R17	16,643	12,015	72.2%	143,413 4,716 138,697	142,849 4,716 138,133	99.6% 100.0% 99.6%	47	木曾川及び岐阜川流域 域別下水道整備総合 計画	市町の事業進捗により 流入量は順調に増加し ている。	人口減少等により将来的な 汚水量の増加は見込ま れず、定期的な計画の 見直しが必要である。	高度処理の実施により 伊勢菜の水質改善に 寄与している。	省エネルギー型の機械 設備を選定することで、 事業費削減を図ってい る。	費用 便益比 2.8 (2.5)	継続	前回 再評価 H30	
2	流域関連公 共下水道事 業	同上	岐阜市	S58	R17	2,880	2,222	77.7%	54,207 0 54,207	52,126 0 52,126	96.2% - 96.2%	40	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.9 (2.7)	同上	同上		
3	同上	同上	美濃加茂市	S61	R17	1,557	1,266	81.3%	31,003 0 31,003	30,277 0 30,277	97.7% - 97.7%	37	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 3.5 (3.0)	同上	同上		
4	同上	同上	各務原市	S57	R17	5,150	2,666	51.8%	71,943 0 71,943	48,615 0 48,615	67.6% - 67.6%	41	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.7 (2.3)	同上	同上	同上	
5	同上	同上	可児市	S63	R17	3,248	2,805	86.4%	59,180 0 59,180	56,419 0 56,419	95.3% - 95.3%	35	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.7 (2.3)	同上	同上	同上	
6	同上	同上	岐南町	S58	R17	759	708	93.3%	14,048 0 14,048	12,234 0 12,234	87.1% - 87.1%	40	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 3.8 (3.2)	同上	同上	同上	
7	同上	同上	笠松町	S63	R17	683	539	78.9%	20,067 0 20,067	16,726 0 16,726	83.4% - 83.4%	35	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.3 (1.9)	同上	同上	同上	
8	同上	同上	坂祝町	S63	R17	399	256	64.2%	4,296 0 4,296	2,972 0 2,972	69.2% - 69.2%	35	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 3.6 (3.3)	同上	同上	同上	
9	同上	同上	川辺町	H3	R17	689	608	88.2%	12,489 0 12,489	10,651 0 10,651	85.2% - 85.2%	32	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.8 (2.8)	同上	同上	同上	
10	同上	同上	八百津町	H3	R17	460	387	84.1%	7,892 0 7,892	7,892 0 7,892	100.0% - 100.0%	32	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.4 (2.1)	同上	同上	同上	
11	同上	同上	御嵩町	H2	R17	838	558	66.6%	16,348 0 16,348	14,109 0 14,109	86.3% - 86.3%	33	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.6 (2.3)	同上	同上	同上	

費用対効果分析：()は前回再評価時の投資効果率

令和5年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 下水道課

○事業制度について	事業名	木曾川右岸流域下水道事業、流域関連公共下水道事業	
	事業目的	・都市の健全な発達及び生活環境の改善（便所の水洗化、悪臭の排除等の環境整備）に寄与し、あわせて公共用水域（伊勢湾等）の水質保全に資する。	
	採択基準	・公共下水道：対象区域→主に市街地、規模→制限なし ・流域下水道：2つ以上の市町村の区域における下水を排除するもの	
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 市町村：公共下水道事業 岐阜県：流域下水道事業 ・対象処理水：汚水（生活雑排水、し尿、工場・事業場排水等） ・整備内容：管渠及び処理場の築造 	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> (1)生活環境の改善効果 <ul style="list-style-type: none"> ○周辺環境の改善（＝下水道整備による悪水路の解消） <ul style="list-style-type: none"> ・中小水路の覆蓋化、清掃費用 ○居住環境の改善（＝トイレの水洗化） <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置、維持管理費用 (2)公共用水域の水質保全効果 <ul style="list-style-type: none"> ○公共用水域の存在価値等のうち下水道の整備によって保全回復される価値
		その他項目	
費用便益B/C	費用 ≧C ≦ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場、管渠等に係る 建設費＋用地費＋改築費＋耐震化費＋維持管理費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・評価対象期間：事業完了後から50年 ・現在価値化に用いる割引率：4% 	
	費用便益比の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.0以上 	

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔都市建築部下水道課〕

番号	5-1	事業名 (路線・河川名等)	木曾川右岸流域下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町の4市6町		事業主体	岐阜県
採択年度	昭和51年度	完了予定年度	令和17年度	
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全			
事業概要	計画面積	16,643ha	処理施設	
	目標年次	令和17年	名称：岐阜県各務原浄化センター	
	排除方式	分流式	処理方式：標準活性汚泥法+急速ろ過法 嫌気・無酸素・好気法+急速ろ過法 ステップ流入式多段硝化脱窒法+急速ろ過法	
	計画人口	433,900人		
	計画汚水量(日最大)	222,640m ³ /日	放流水質：BOD 10.2mg/L，T-N 10.2mg/L, T-P 1.5mg/L	
概要図	<p>木曾川右岸流域下水道事業概要図</p>			
	<p>岐阜県各務原浄化センター</p>			

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5-2	事 業 名 (路線・河川名等)	岐阜市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)		
事業実施箇所	岐阜市		事業主体	岐阜市	
採択年度	昭和58年度	完了予定年度	令和17年度		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。				
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全				
事業概要	<p>計画面積：2,860ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：令和17年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：95,700人</p> <p>計画汚水量(日最大)：51,089m³/日</p>				
概要図	<div style="text-align: center;"> <p>岐阜市流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</p> </div>				

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5-3	事 業 名 (路線・河川名等)	美濃加茂市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)
事業実施箇所	美濃加茂市	事業主体	美濃加茂市
採択年度	昭和61年度	完了予定年度	令和17年度
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。		
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全		
事業概要	計画面積：1,557ha 目標年次：令和17年度 排除方式：分流式 計画人口：38,700人 計画汚水量(日最大)：17,907m ³ /日 処理施設：岐阜県各務原浄化センター		
概要図			

令和5年度 再評価実施箇所 (附図)

番号	5-5	事業名 (路線・河川名等)	可児市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)
事業実施箇所	可児市	事業主体	可児市
採択年度	昭和63年度	完了予定年度	令和17年度
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。		
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全		
事業概要	<p>計画面積：3,248ha 目標年次：令和17年度 排除方式：分流式 計画人口：92,200人 計画汚水量(日最大)：45,708m³/日</p> <p>処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p>		
概要図	<p>可児市流域関連公共下水道事業計画一般図(汚水) S=1/20,000</p> <p>予定処理区域面積 約2,868ヘクタール 主要な管渠の延長 約64,980メートル</p>		

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番号	5-6	事業名 (路線・河川名等)	岐南町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)
事業実施箇所	岐南町	事業主体	岐南町
採択年度	昭和58年度	完了予定年度	令和17年度
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。		
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全		
事業概要	<p>計画面積：759ha 目標年次：令和17年度 排除方式：分流式 計画人口：24,500人 計画汚水量(日最大)：12,399m³/日</p> <p>処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p>		
概要図			

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5-8	事 業 名 (路線・河川名等)	坂祝町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)		
事業実施箇所	坂祝町	事業主体	坂祝町		
採択年度	昭和63年度	完了予定年度	令和17年度		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。				
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全				
事業概要	<p>計画面積：399ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：令和17年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：5,700人</p> <p>計画汚水量(日最大)：3,227m³/日</p>				
概要図	<p>坂祝町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</p>				

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5-9	事 業 名 (路線・河川名等)	川辺町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)		
事業実施箇所	川辺町	事業主体	川辺町		
採択年度	平成3年度	完了予定年度	令和17年度		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。				
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全				
事業概要	<p>計画面積：689ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：令和17年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：8,200人</p> <p>計画汚水量(日最大)：4,768m³/日</p>				
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 川辺町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区 </div>				

令和5年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	5-11	事 業 名 (路線・河川名等)	御嵩町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	御嵩町	事業主体	御嵩町	
採択年度	平成2年度	完了予定年度	令和17年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全			
事業概要	<p>計画面積：838ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：令和17度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：14,100人</p> <p>計画汚水量(日最大)：6,832m³/日</p>			
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">概要図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">凡例</p> <p> 全体計画</p> <p> 施工済み(～R4)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%; text-align: center;"> <p>御嵩町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</p> </div> </div> </div>			

令和5年度 事業再評価

木曾川右岸流域下水道事業及び 流域関連公共下水道事業（木曾川右岸処理区）



岐阜県各務原浄化センター

岐阜県都市建築部下水道課

1

下水道事業の政策と位置付け

流域別下水道整備総合計画（流総計画）

- ▶ 下水道法第2条の2に基づき、公共用水域の環境基準を達成維持するために都道府県が定める計画で、将来人口や発生負荷量の推定をもとに、環境基準の達成維持に必要な下水道整備計画区域や処理場の配置、計画処理水質等を定めた基本計画。
- ▶ 木曾川右岸流域下水道事業としては「木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画」（平成23年2月）が上位計画となり、計画処理人口、水質環境基準、下水処理場の窒素・リン削減目標等を定めている。



- ← 将来計画人口及び計画汚水量
- ← 下水処理方法
- ← 処理水質を維持するための施設水準 等

木曾川右岸流域下水道事業計画

2

位置図（全体計画区域）

木曾川右岸処理区（4市6町）

（岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町）

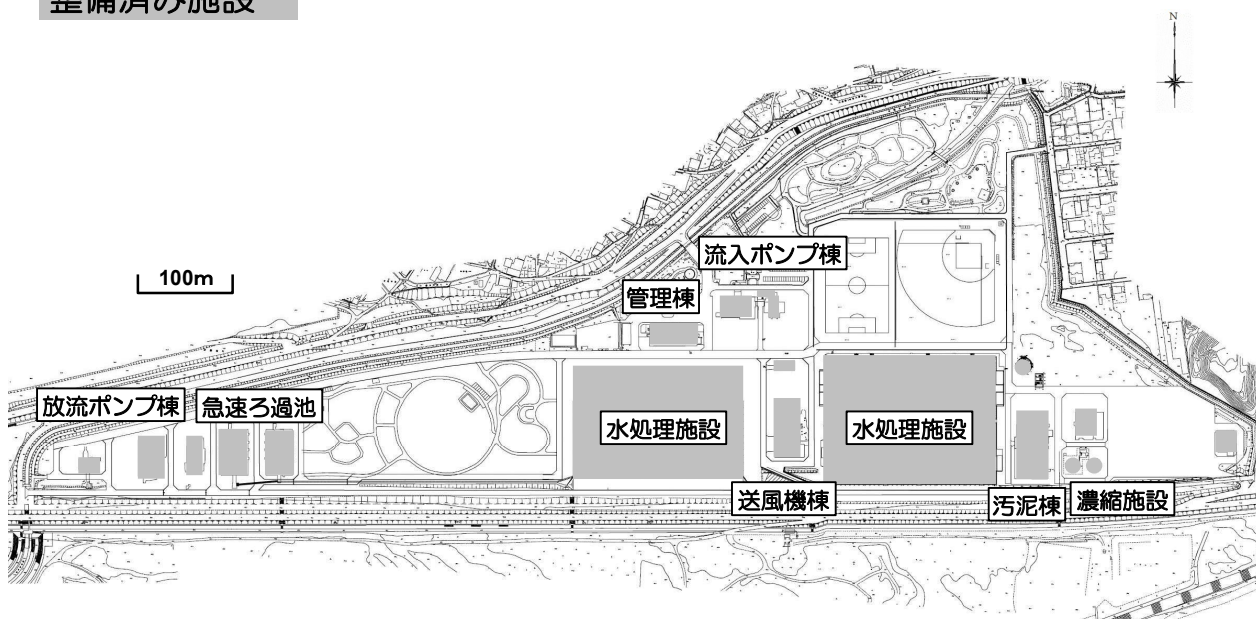
全体計画処理区域：16,643ha



3

位置図（岐阜県各務原浄化センター全体配置図）

整備済み施設



4

事業概要（木曾川右岸流域下水道事業）

	前回事業評価時の計画（H27策定）	現在計画（R2策定）
事業期間	昭和51年度～平成37年度	昭和51年度～令和17年度
整備期間	50年間	60年間
全体処理区域面積	16,773 ha	16,643 ha
全体計画処理人口	466,220 人	433,900 人
計画日最大汚水量	241,815 m ³ /日	222,640 m ³ /日
流域幹線延長	77.6 km	
処理方式	<ul style="list-style-type: none"> ・標準活性汚泥法 + 急速ろ過法（8池） ・嫌気・無酸素・好気法 + 急速ろ過法（8池） ・ステップ流入式多段消化脱窒法 + 急速ろ過法（9池） 	

5

事業概要（流域関連公共下水道事業）

市町名	岐阜市	美濃加茂市	各務原市	可児市	岐阜町	笠松町	坂祝町	川辺町	八百津町	御嵩町
事業期間（年度）	S58 ～ R17	S61 ～ R17	S57 ～ R17	S63 ～ R17	S58 ～ R17	S63 ～ R17	S63 ～ R17	H3 ～ R17	H3 ～ R17	H2 ～ R17
整備期間	53年間	50年間	54年間	48年間	53年間	48年間	48年間	45年間	45年間	46年間
全体処理区域面積 (ha)	2,860	1,557	5,150	3,248	759	683	399	689	460	838
全体計画処理人口 (人)	95,700	38,700	128,800	92,200	24,500	20,400	5,700	8,200	5,600	14,100
計画日最大汚水量 (m ³ /日)	51,089	17,907	66,199	45,708	12,399	10,906	3,227	4,768	3,605	6,832

6

事業目的

- 本事業は上位計画である「木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画」に基づき、4市6町（岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町）の汚水を広域的に処理するものです。
- 下水道事業を推進することで、流域関連10市町における住民の生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図ります。

7

費用対効果分析

※「下水道事業における費用対効果分析マニュアル」(令和3年4月)による

■費用

- ・ 流域下水道事業、流域関連公共下水道事業に係る費用

■便益

- ・ 生活環境の改善効果（効果全体の97%）
 - 周辺環境の改善（=下水道整備による悪水路の解消）
 - 居住環境の改善（=便所の水洗化）
- ・ 公共用水域の環境保全効果（効果全体の3%）

■投資的效果率

- ・ 効果額／事業費 = 2.8

前回再評価時(H30)=2.5

8

事業を巡る社会情勢等の変化

- 人口減少等により、将来的には汚水量の増加は見込まれない状況であるため、定期的な全体計画の見直しが必要であり、直近では令和2年度に計画の見直しを行いました。
- 近年は、世界的に脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しているところであり、木曽川右岸流域下水道においても脱炭素化の取り組みを行っています。

9

事業の進捗状況（流域下水道全体）

令和4年度末

整備 状 況	面積	全体計画区域	16,643 ha	
		整備済区域	12,015 ha	
		整備率	72.2 %	
	事業費 (1)	全体事業費（百万円）	434,896	143,413
				291,483
		実施済事業費（百万円）	394,870	142,849
			252,021	
進捗率	90.8 %	99.6 %		
		86.5 %		

注（1）事業費欄の上段：流域下水道 下段：流域関連公共下水道

10

事業の進捗状況（流域関連公共下水道事業）

令和4年度末

市 町 名		岐阜市	美濃加茂市	各務原市	可児市	岐南町	笠松町	坂祝町	川辺町	八百津町	御嵩町	
整 備 状 況	面 積											
	全体計画 区域(ha)	2,860	1,557	5,150	3,248	759	683	399	689	460	838	
	整備済 区域(ha)	2,222	1,266	2,666	2,805	708	539	256	608	387	558	
	整備率(%)	77.7	81.3	51.8	86.4	93.3	78.9	64.2	88.2	84.1	66.6	
	事 業 費	全体事業費 (百万円)	54,207	31,003	71,943	59,180	14,048	20,067	4,296	12,499	7,892	16,348
		実施済事業費 (百万円)	52,126	30,277	48,615	56,419	12,234	16,726	2,972	10,651	7,892	14,109
進捗率(%)		96.2	97.7	67.6	95.3	87.1	83.4	69.2	85.2	100.0	86.3	

11

コスト縮減の取り組み

- 水処理施設25池目の工事において、沈殿池設備（初沈・終沈）の機械（汚泥掻寄機）に省エネルギー型を選定することで、工事費及び維持管理費を縮減しました。

コスト（未対策時） $C_0 = 11,540$ 千円/年

コスト（省エネ対策時） $C_1 = 6,870$ 千円/年

【縮 減 額】 $C = C_0 - C_1 = 4,670$ 千円/年

12

対応方針（案）

- 現在、流域関連10市町の面整備は着実に進んでいます。
- 流入汚水量は周辺環境により増加※しています。

※社会情勢等の変化を受け、R2に実施した全体計画の見直しにおいてR17までに整備する内容を変更したため、前回計画策定時に比べ、計画区域面積、計画処理人口、計画汚水量は減少した。

しかし、現状は面整備の途上であり、整備の進捗にあわせて、年々、流入汚水量は増加している状況である。



岐阜県、流域関連10市町とも定期的な事業計画の見直しを行いながら、令和17年度の事業完了に向け、事業を継続します。

**令和5年度
第5回岐阜県事業評価監視委員会
費用対効果分析資料**

■事業名

【下水道事業】 木曾川右岸流域下水道事業、流域関連公共下水道事業

■事業内容

木曾川右岸流域下水道事業：処理場、ポンプ場、管渠の整備
流域関連公共下水道事業：管渠の整備

■費用対効果分析結果(市町ごとの費用対効果分析結果は別表のとおり)

区分		前回	今回	備考
		(基準年：H30)	(基準年：R5)	
事業期間		S51～H37	S51～R17	
費用 (億円)	建設費	6,733.6	7,942.2	
	維持管理費	1,222.9	1,819.6	
	合計(C)	7,956.5	9,761.8	
効果 (億円)	周辺環境の改善	13,410.2	19,210.0	
	居住環境の改善	6,207.3	8,200.9	
	公共用水域の水質保全	577.4	703.8	
	合計(B)	20,194.9	28,114.7	
費用対効果分析結果(B/C)		2.5	2.8	

※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したものの。

■費用対効果分析の分析方法

・下水道事業における費用効果分析マニュアル/国土交通省 水管理・国土保全局下水道部/R3.4

■費用対効果分析結果の要因変化

【費用の主な変化要因】

・現在価値化する際の基準年の更新(H30→R5)により増加した。【約1,805億円】

【便益の主な変化要因】

・現在価値化する際の基準年の更新(H30→R5)により増加した。【約2,120億円】
・費用効果分析マニュアルの改訂(R3.4)により、便益算定項目の一部単価が増額したため、これに伴い便益が増加した。【約5,800億円】

【費用対効果分析結果の変化】

・費用効果分析マニュアルの改訂(R3.4)により、費用に対し便益が大きく増加したため、前回の再評価時よりもB/Cが増大した。(便益算定に作用する水路蓋設置費が実態に基づき見直され、大幅に増額となったため、費用に対し便益の増加が大きい結果となった。)